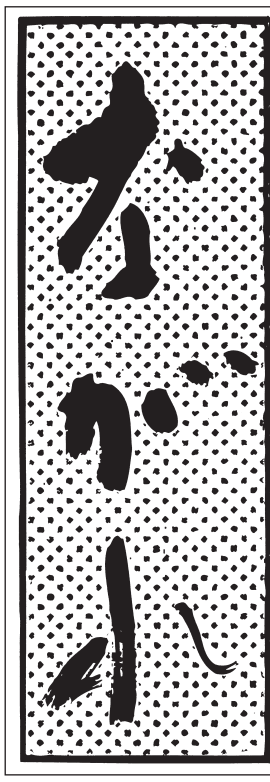


発行所：岐阜市長良西後町
岐阜県立長良高等学校 同窓会
TEL（058）231-1186
印　刷：（有）プリンテックス

情報満載!!
ホームページへ!
長良高校同窓会
検索
nagara
http://nagara-dousoukai.net/

受け継がれる伝統

同窓会長　辻　慶一（24期）

長良高等学校同窓会第十代会長二十四期生の辻慶一でございます。日頃から皆様方には、同窓会の運営に対しましてご理解、ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、私ごとですが、名誉ある長良高等学校同窓会会長を拝命し、すでに四年の歳月が流れました。その間、皆様のご理解ご協力のもと総会・懇親会の参加者が五〇〇人を超え、同窓会の基本方針でもあります「同窓生の世代を超えたコミュニケーションを図り、同窓生の友好の輪を広げる」がますます浸透し、広がってきております。

昨年の総会・懇親会は、「長良校生スピリットをもう一度！」をテーマに開催され、前回に引き続き参加者が五〇〇人を超え、大いに盛り上がりました。

懇親会が最高潮に達したのは往時の応援団のもと、世代を超えて老若男女が肩を組み合って校歌を歌った時でした。中には、感極まって涙する人や、目頭を赤くして声を張り上げる人の姿があちらこちらに見られました。最高でした。

三十六期のメインホストの皆さん、そして、サブホスト期・サポートホスト期の皆さん、本当に感動をありがとうございました。繰り返しになりますが、これも諸先輩が築いてこられた本同窓会の歴史と母校の伝統が、新しい世代に脈々と受け継がれている証であると深く感謝した懇親会でした。

さて、本年度の総会・懇親会は、メインホストの三十七期の方が中心になり、サブホスト期及びサポートホスト期の方々と共に『世代をつなぐ』をテーマに企画してくれています。副題として（大好き長良高）と題し、開拓者の気魄で斬新なアイデアを駆使し、都合で参加できない校友のために動画配信や当日ツイート等を考えてくれています。当日は、皆さんといっしょに自由の風を感じ、そして友情の深さを確認し合い、感動・感激のある懇親会にしていきたいと考えています。どうか、本年も多数ご参加いただき、世代を越えた友好の輪が更に拡大されればと思っております。

高校生活の間に育まれた友情は永遠です。私共、執行部も同窓会の更なる発展と皆様方の友情がより確かなものになりますよう全力を傾けてまいりますので、引き続いてのご理解とご支援を心よりお願い申し上げ、同窓会長の挨拶といたします。

『生徒の成長と母校の発展』

学校長　鈴木 賢治（26期）

新緑が眩しい季節となりました。同窓の皆様には、平素から母校の教育活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

まずは、母校の近況について、ご報告いたします。この三月には、第六十七期生が卒業し、卒業生の総数は二万七千八百名余りとなりました。また、四月には第七十期生となる一年生が入学し、各学年十クラス、男子六百六十一名、女子五百四十一名、在籍生徒数千二百二名の県内最大規模の学校となっています。保護者・地域・同窓の皆様から温かいご支援・ご協力をいただき、勉強、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等に励む中、日々成長を続けているところです。平成二十八年度の進路状況は、現役と既卒者を合わせた延べ数で四年制大学に九百九名（うち国公立九十四名）、短大や専門学校等に六十七名が合格を果たし、それぞれの進路先で勉学に励んでいます。部活動においては、陸上競技部、女子ハンドボール部、女子卓球部、放送部、写真・科学部がインターハイをはじめとする全国規模の大会・コンクール等に出場し活躍しました。さらに、剣道部、水泳部、コーラス部が東海大会や中部大会に出場し、日ごろの成果を発揮するとともに、大変貴重な経験を積むことができました。また、生徒会執行部、吹奏楽部、コーラス部、家庭クラブ等の生徒が、近隣の幼稚園、小・中学校、特別支援学校、児童養護施設の皆さんと交流したり、地元の敬老会や学校東隣の長良公園での演奏活動（メタセコイアの森コンサート）を行なったりするなど、地域交流・貢献活動も積極的に展開しているところです。

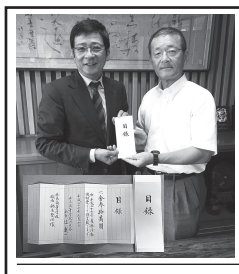
さて、私は校長として母校である長良高校に赴任し四年目の春を迎えているところですが、来年の三月をもって定年となります。この間、辻慶一会長をはじめとします同窓の皆様から物心両面にわたり熱いご声援とご支援を賜りました。誠にありがとうございます。私にとっては最後の一年となりますが、現役の生徒、教職員一丸となって、生徒一人ひとりの成長と目標の達成、そして、本校の発展に邁進していく所存であります。

今後とも同窓の皆様のお力添えをいただければ幸いに存じます。

今年は、「同窓会総会・懇親会」が六月十九日に、また、「関東支部総会・懇親会」が十一月二十三日に予定されています。多くの同窓の皆様と恩師の先生方にお会いできることを楽しみにしております。

結びにあたり、若い卒業生が、先輩の皆様にどこかでお世話になることがあると思います。その節はどうぞよろしくお願いいたします。

部活動激励費について



これまでは、全国大会出場一人一日に付千円の激励金が渡されておりましたが、平成二十七年度からは、三十万円の部活動激励費を高等学校にお渡しして、部活動奨励のために自由に使って頂くことにしました。

部活動激励費の授与式が九月七日に校長室において行われ、辻慶一会長から鈴木賢治校長にその目録が授与されました。各クラブの今後益々の活躍を期待しております。

財務担当副会長　安藤　剛

会費納入のご協力をお願いします

●趣　旨
この「ながれ」は長良高校同窓生二万七千八百余名（住所不明者除く）に送付されています。その費用として毎年送料を含め二百六十万円程必要になります。現在の納入状況では全員への送付が不可能になります。どうか、お一人千円以上の会費を納入してくださいますようお願い申し上げます。

●金　額
千円以上（一口千円を一口以上）

◆納入方法
「ながれ」に同封する郵便局の振込用紙にて納入して下さい。

平成28年度 長良高校同窓会 総会・懇親会

日時：**平成 28年 6月 19日（日）**
受付：11：00～　総会・懇親会：12：00～15：00

場所：**岐阜グランドホテル　ロイヤルシアター**(地下１階)
（岐阜市長良川畔　TEL:058-233-1111）

会費：一人 **7,000円**　　学生 **4,000円**

申込：**6月3日(金)まで**（お手数ですが、同封の振込用紙にてお願いします）

合わせて**年会費1口以上(千円/1口)**のご協力を！（ご欠席でも年会費のみの納入は可能です）

世代をつなぐキャンペーン

親子・夫婦・兄弟姉妹・祖父母＋孫 等

28年度限定の特別企画!!
長良高校同窓会ホームページをご覧ください

総会・懇親会費のご家族同時振込みで**『特製QUOカード』**プレゼント！
対象者は代表の方の振込用紙にて一括振込にてお願いいたします。

★当日の企画(予定)★

◎**USTREAM**にて懇親会をライブ動画配信！
http://ustre.am/1v8QH

◎**Twitter**にて当日ツイート参加者募集中
長良高校同窓会37期公式
@nagara_hs_37

◎**現役コーラス部ライブ!!**
等々、お楽しみに！

振込用紙の対象者欄に**○印と、対象者の氏名(旧姓)・卒業期**をご記入ください。

◆世代をつなぐキャンペーン◆
対象者の続柄に○印をご記入願います
〈親子〉　夫婦　兄弟　姉妹
祖父母・孫　その他（　　）
同伴者氏名・期生
（　長良 高子　）　55　期
（　　）　　期

記入例

今年度は長良高校37期卒業生がメインホストとして、長良高校同窓会懇親会を運営させていただきます。

今年度のテーマは

世代をつなぐ"...　大好き！長良高 2016

3年後には**70周年**を迎える歴史ある長良高校で青春時代を過ごした同窓生が、一堂に会し、旧交を温め、また新たな絆が育まれていきます。

この懇親会が皆さまの長良高校への想いを通じて、同世代はもとより先生、先輩、後輩と**世代をつなぐ**、楽しい語らいの場になればと思っています。

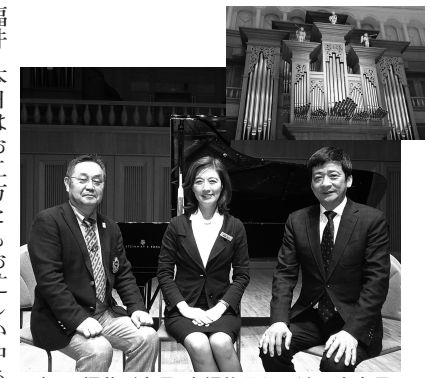
みなさん、お誘い合わせの上、是非ともご参加ください。

メインホスト37期 懇親会実行委員長　**高橋 寛**

同窓生対談

●平成二十八年三月十一日（金）
●サラマンカホール　於

●司会進行
福井 雅一 副会長（28期）



左より福井副会長、嘉根礼子さん、辻同窓会長

■略歴
嘉根礼子（かね れいこ）
（旧姓：嶽肩）
長良高校第28期生
武蔵野音楽大学音楽学部（ピアノ専攻）卒業
成城大学文芸学部（西洋美術史専攻）卒業
現在 サラマンカホール支配人

福井：本日はお二方ともお忙しい中ありがとうございます。同窓会報「ながれ」の中で国内・世界で活躍されている同窓生の方と会長との対談を企画しておりまして、今回はサラマンカホール支配人の嘉根礼子さんをお招きしました。嘉根さんは旧姓嶽肩さんで、大学は武蔵野音大と成城大学文芸学部の二つに行ってみえるんです。

嘉根：私は小さい頃からずっとピアノを習っていたんですが、母にスパルタでやらされていたという思いがありました。音大を出てからも　自分が本当にやりたいことって何だろうと考えていて、絵を描いたり見たりすることがすごく好きだったので、西洋美術史をやりたくて総合大学に入ったんです。

福井：今のお話の中で音楽との関わりは親から、ということですが、辻会長は音楽との出会いはどうでしたか。

辻：父が好きで、姉が子供の頃ヴァイオリンを習ってて、僕もいやいや連れて行かれてボーッとしてました。もっとポピュラーなビートルズとかを聴いていましたし、大学ではサークルで遊び程度のベースを弾いたりしてました。

福井：会長は音楽を通じて社会貢献をされているとお聞きしましたが。

辻：私が所属している長良川ライオンズクラブが青少年健全育成というテーマで始めたのが「ふれあいコンサート」です。今回はその志を継いだ地元の銀行さんが、県の事業として大阪フィルハーモニー交響楽団の三十九回目の岐阜定期演奏会に協賛されています。当初は一般募集だけでは人が集まらなくて、みんなで手分けしてチケットを売っていました。

嘉根：皆さんの努力が実って、今ではもう毎年チケットは完売で、多くの方に楽しんで頂いています。今年はサラマンカホールのオルガンを活かしたいということで、サン＝サーンスのオルガン付きの交響曲を演奏しました。今回は指揮者もオルガン付きの交響曲を演奏しました。今回は指揮者もオルガニストも女性で、最後は皆さんもう大感激でした。これは本当最初に始められた辻さんたちの努力が実って花が咲いた感じです。

辻：続けてゆく事がすごい事ですよね。

福井：長良高校というと運動系と見られがちですが、文化系も活躍していますよね。

辻：私の姉もいた演劇部や、恩田先生がおられたコーラス部は全国大会に出ていたし、その後澤島先生が引き継がれて、全国大会金賞を九年連続で受賞しました。コーラス部は今度サラマンカホールの主催公演の企画に登場するんでしょ。

嘉根：十月に恒例の秋の音楽祭を開催するんですが、今年は合唱がテーマで、子供から大人の合唱まで企画しています。その中の高校生の合唱で長良高校コーラス部が出演してくれるんです。團伊玖磨作曲の「筑後川」を岐阜県交響楽団のオケ伴奏で歌ってもらいます。私としてはすごく嬉しくて、長良高校との結びつきを強められたらなと思います。

辻：確か吹奏楽部の定期演奏会はここでしたよね。

嘉根：はい、毎年使って頂いています。吹奏楽部の先生や生徒さんがいらっしゃると、事務所を飛び出して挨拶するんですが、いつも元気が良くて礼儀正しいんです。私はピアノを習っていて部活をしていなかったので、その点では後悔しています。

福井：ピアノのお話が出たので、ピアノとの出会いをお聞かせください。

嘉根：ピアノは幼稚園の頃から習っていました。ピアノの先生が名古屋だったので、土日は名古屋にレッスンに行ってました。一年に一回発表会があったのですが、高校時代は英語の住田先生が遠いところ毎年聴きに来てくださって。誰も知り合いがいなくて心細いなか、住田先生が座って聴いていてくださる…そんな精神的な後押しがあって、普通高校から音大に行けたような気がします。今も支えられていて、ご夫妻でコンサートを聴きに来てくださるし、第九を歌う会に参加されて、サラマンカホールでも美声を轟かせていらっしゃいます。何十年も前の高校時代の繋がりが今でも大事なんです。

福井：嘉根さんの本を見せてもらったんですが、「音楽は人生を楽しくし、努力は人生を美しくする」という言葉があるんですが…。

嘉根：この言葉はピアノの先生から頂いた言葉で、練習をサボりがちな私の姿を見透かされたようで、ズシンと心に響きました。この先生に出会って、私の音楽人生が変わりました。自分からピアノっていいな、音楽ってこんなに楽しいものなのだと思えたのです。「努力は人生を美しくする」というフレーズもすごく深くて、「私は努力が足りないから、まだまだ美しくなれないな」と自分を戒める言葉でもあり、これからも頑張ろうと力をもらう言葉です。

福井：嘉根さんは海外での生活が長くて、最初はオランダで六ヶ国ということですが。

嘉根：海外生活は楽しみでもあり、大変でもありました。子供を育てている間なので、転校も多いし。日本人として外国に住む緊張感、日本を代表しているという気持ちもありますので、頑張らなきゃと思っていました。ただ、その時代にコンサートをたくさん聴いたんですね。ドイツ四年、イタリア二年、ニューヨークに三年暮らしましたので、オペラを観たり、コンサートを聴いたり。そこで「子供のためのコンサート」に出会いました。それが今、ホールの企画の柱の一つになっています。ドイツでは「子供が観る初めてのオペラ」というのがあるんです。子供がオペラデビューをする、それが「ヘンゼルとグレーテル」という演目なんですが、そこからヒントを得て、サラマンカホールでも「子供のためのオペラシリーズ」というのを始めました。昨年四回目でやっと「ヘンゼルとグレーテル」の公演が実現しました。出演者は全員オーディションで選びました。岐阜で歌っている若い人達をホールとしても育てていきたいという思いがあります。

福井：お話を伺っていますと、キーワードは本物を見せるということですね。

辻：福井さん、このホールでオーケストラの演奏を聴いた事ある？

福井：ないですね…。

辻：良い音がするの、迫力あるし、指揮者の顔も見えるし。

嘉根：このホールは全国でも音響の良いホールとして有名なんですね。岐阜県の宝です。ベルリンフィルのコンサートマスターの樫本大進さんには、全国十数か所回ったうちサラマンカホールでの演奏が一番良かった。響きが一番良いとおっしゃって頂きました。ベルリンフィルのメンバーからもヨーロッパでもこんなに音響の良いホールはめったにない、と言われる程です。ところで、このシャンデリアの形って岐阜ちょうちんをイメージしたデザインだって知ってました？この六基の照明に音が乱反射することが、残響の長さに関係しているといわれます。

福井：話は尽きませんが、世界に誇れるコンサートホールの支配人になられたということで、今後の抱負をお願いします。

嘉根：はい、今まで以上に多くの方が本物の音楽に触れられる機会を作り、青少年の育成に努めたいと思います。「子供のためのオペラ」もそうなんですが、三年前に「サラマンカ少年少女合唱団」を設立しました。ホール附属の合唱団員を募集して、現在六十名ほどの子供達が毎週土曜日練習しています。もう一つは弦楽四重奏団で、ホール専属のカルテットを昨年立ち上げました。他にもオーケストラをバックに広く県民の皆さんに歌ってもらいたいとか、今後音楽と地域の人々との結びつきをどう拡大させていこうかなと考えています。

福井：今回、同窓会のテーマが「世代をつなぐ」ですが…。

辻：今年度の総会に向けてホスト期が頑張っているんですが、若い人達がどう参加してくれるかということが難しいんです。参加はしてくれるわけではないけど、またやってるなと思ってもらえればと、今年はインターネットで総会・懇親会をライブ中継しようとホスト期の皆さんが企画しているんですよ。

福井：そうですね。サラマンカホールをどうするか、同窓会をどうするかは、いかに興味をもってもらうかですね。そこから繋がってゆくというものが共通しているなと思います。

辻：ところで、このホールは出来て何年なんですか？

嘉根：もう二十二年になります。子供の頃に親に連れられて来て、自分が親になってからは親子三代でホールに通われるファンの方もおられます。大フィルの岐阜定期公演が毎年開催される前提で、ここの舞台はフルオーケストラが乗る寸法になっています。七百席のホールにしては奥行きに余裕があり大きいんですよ。そのおかげで今年はウィーンのフォルクスオーパー交響楽団によるニューイヤーコンサートを開催できました。しかもバレエ付き。それが出来たのはありがたいことです。

福井：今回お二人は初対面なんですが、見ててそんな感じがしないんですが。

辻：これが長良高のいいところなんですよ。話始めるとどんどん話が弾むんです。すぐ何年来の友達になってしまいます。

嘉根：私も先日、今年の「子供のためのオペラ」に四十一期の國光智子さんに来てもらおうと連絡を取りました。岐阜を代表する素晴らしいソプラノ歌手で、お名前は存じ上げていたんですが、長良高校のOGだって知らなかったんですよ。お話しているうちに同窓ということが分かり、その瞬間にもうずっと小ちゃい頃から知ってますよという感じになりました。以前同窓会の懇親会で歌って頂いた後、お忙しいのに高校でも歌ってもらったんですよ。

辻：今年は十二月十八日（日）に「子供のためのオペラ」で、モーツァルトの「魔笛」を公演するのですが、主役の一人で王女役のパミーナを彼女に歌ってもらうんです。

嘉根：そういう情報を流さないといけないね。この頃は同窓会のホームページを見ている人もたくさんいるんで。

福井：それでは最後に嘉根さんから現役生に一言。

嘉根：長良の良さっていろんな人と仲良くなれるところで、私も海外でいろんな国の人達とすぐ仲良くなれたんですね。これって高校の時に受けた教育というか、校風のおかげかなって思っています。これからはグローバル社会ですから海外に出ていって仕事をして、色々な人とコミュニケーションを取って、日本の文化を伝えてほしいと思います。

福井：最後に辻会長より総括を。

辻：長良高校の良い所は校歌にもあるように「友情深し」という雰囲気があるところ。同窓会もここのところ繋がりができてるんで、今年もう少し若い方にバトンタッチしようと考え、次期同窓会長に三十期の澤田栄さんが就任予定です。彼も非常に文化色が強いんで、いろいろ尽力してくれると思うので楽しみです。最後に嘉根さん今日はありがとうございました。同窓会の皆さんもどんどんサラマンカホールに来てください。

「縁・JOYながら！」

副会長　澤田　栄（30期）

赤、青、黄と、パステル調で少しお洒落な長良高の校章。おとな顔でも赤色を付けていれば一年生とわかりますし、黄色いバッジの先輩に憧れたりもしました。私たちは卒業式で、それぞれの胸に、一生はずせない緑色のバッジを頂きます。そこには〝開拓者魂〟と刻まれています。開拓すべきは、一人ひとりの可能性であり、未来です。

創立六十周年の時、実行委員長を仰せつかりました。同窓会総会には三五一名の出席を頂きました。同期の仲間達がそれぞれ得意な役割を担ってくれて、プレッシャーが達成感に変わりました。爾来、後輩たちが熱い思いを継承し、今や五百名を超える、担当期の個性溢れる〝感動の同窓会総会〟となっています。

大きな縁に導かれて、新年度から会長を務めさせて頂きます。世代を繋ぐ長良高創立六十七年の歴史に想いを馳せて、縁を楽しみ、幸せの総量の多い同窓会を目指していきます。皆さまの変わらぬ愛情とご支援をお願いします。

恩師からの熱い思い出

第二の母校長良高校

尾関　孝彦

私は一九七八年（昭和五十三年）四月、関市の中濃西高校（現・関有知高校）より伝統ある長良高校に赴任しました。そして、一九九一年（平成三年）四月、土岐高校の教頭として転任するまでの十三年間長良高校の社会科教師として勤務させていただきました。

この度、私が三年の学年主任として女子クラスを担任した三十七期生の皆さんが、今年度同窓会の幹事学年として総会が開催されるということで、同窓会報「ながれ」に寄稿を依頼されました。

私は、高校教師として三十三年間、八校に勤務しました。そのうち十三年間、約半分が長良高校に勤めました。そのことから長良高校は私の「第二の母校」と言えるでしょう。十三年間、担任は九回でしたが、教科（主に世界史）から、三年の担任が四回でした。今年の幹事学年の三十七期生の皆さんは、昭和六十年四月～六十一年三月までの一年間の担任でした。皆さんが卒業された後も五年間勤務しましたが、以後三年の担任は無く、皆さんが最後となり特に思い出多き学年でした。

私の校務は、十三年間、視聴覚係でしたが、進路指導部、最後三年間は生徒指導部長などにも携わりました。

昭和五十四年十一月「第三十回放送教育研究会全国大会・岐阜大会」が開催され、高校部会の事務局次長、研究委員として大会運営で多忙な日々だったことを思い出します。ラジオ番組や当時まだそれほど普及していなかったＶＴＲを利用した授業（世界史）で、生徒諸君に分かる授業の〝授業研究〟を続けたことも思い出します。そして、部活動は当然放送部でした。私自身も楽しく指導することができました。放送部の生徒諸君が大変熱心で〝西の甲子園、東のＮコン〟と言われるＮＨＫ杯全国高校放送コンテストには、ほぼ毎年アナウンス、朗読、ラジオ番組、テレビ番組の各部門に県代表としての全国大会に出場出来たことは今でも大きな喜びです。当時の放送部員とは今でも交流があります。

私が三年生の担任をした三十二期、三十四期、三十六期、三十七期の諸君とは時々クラス同窓会もあり、立派にご活躍の姿に〝教師冥利〟の思いで一杯です。感謝です。

「友情深し長良高校」

長良高 心の故郷

野原　恵司

古稀を目前にし、無意識のうちに来し方を振り返っている時が増えました。私が現在長良西小校下に住んでいる関係で、登下校中の長良高生徒の姿を時折見かけますが、その度に長良高勤務時代を思い出します。長良高校には昭和五十六年から十一年間お世話になりました。実に私の教員生活の三分の一弱にあたります。優れた先輩、同僚の先生方、また何より素晴らしい生徒の皆さんと過ごした充実した日々は、私の最も大切な財産となっています。長良高校の自由で闊達な雰囲気は人を大きく育てる原動力であったと思います。

私がお世話になった当時の校舎は、大正ロマンの香がする上下兼用の二階建てでしたが、その重厚さの中に存在する伝統の重みに圧倒される思いでした。三十代初めの未熟な私は不安一杯でしたが、私のつたない授業に真剣に向かいあってくれた生徒の皆さんには感謝の一言です。

社会科教師として、世界史・日本史・政経などを担当しました。お粗末な授業も多く、後悔の念が残っていますが、今となっては楽しい思い出ばかりです。心優しい生徒の皆さんは、私のおやじギャグにもいやな顔一つせず付き合ってくれました。中国史の授業の時、漢代の匈奴の王、冒頓単于（ぼくとつぜんう）の説明で「彼には突然「うー！」と叫ぶ癖がある。だから、ぼく、とつぜん、う」とギャグをとばし、教室内が冷たい視線で一杯になりました。

部活動も楽しい思い出ばかりです。バトミントン、バレーボール、野球、陸上の顧問を務めましたが、名ばかり顧問であまりお役に立てず申し訳ない思いです。生徒の皆さんのお役には立ちませんでしたが、放課後一緒に流す汗は、私の健康管理に大いに役立ってくれました。

たまたま今年の同窓会のメインホストである三十七期生が三年生の時、顧問をしていた野球部が夏の県大会準決勝で県立岐阜商業に負けたこと、ベスト四まで進出したこと、嬉しくも悔しい思い出です。

最後に、私の心の故郷である長良高校の一層の発展をお祈りして筆を置きます。

捨てられないもの

岩田　洋記

私が長良高校に勤務したことは、二十年以上昔の出来事です。教え子からの突然の電話により当時を振り返ることになり、多くの思い出として蘇ってきました。

長良高校に赴任するまでは生物を教えている教員は多くの場合一年生で生物を教えるため一年生の学級担任がほとんどでした。二・三年生は物理・化学を学びますので、修学旅行の引率や三年生の学級担任として卒業に携わることはありませんでした。一年生で理科Ⅰと言う教科ができた頃から二年生で生物を教えることが多くなり、二年生の学級担任をする機会ができ、念願の修学旅行の引率が叶いました。三年生で生物を学ぶクラスができ、三年の学級担任もできるようになりました。その初めて担任をし、卒業に携わった三年生がこの原稿依頼をしてくれた学級の教え子です。

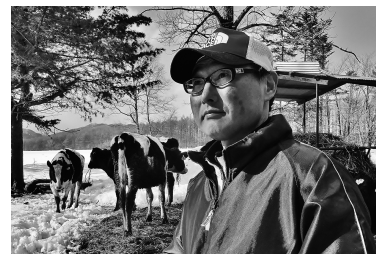
私は五年前の退職を機に、今流行の『断捨離』を行いました。仕事着として着ていたほとんどの背広をはじめ、教員初任から保管してあった教科書、授業で参考にした本、大学時代までに読んだ小説、単行本、専門書、百科辞典などの家にあったほとんどの書籍類を廃棄してしまいました。トラック一台分の本はトイレットペーパー十ロールほどに交換されました。でも、たくさんの思い出の詰まった卒業アルバムだけは残しました。今は大学で生物学の講義をしていますが、服装については何の不便も感じてはいませんし、教材も必要に応じて、手に入れています。結果として私の『断捨離』はよかったのだと思っています。

今でも捨てることができないものがもう一つあります。それは、卒業式や終業式が終わると多くの生徒が「先生何か一言書いてください。」と言って、色紙やノートを持ってきます。そんなとき私は「青春の夢に忠実であれ。」とよく書きました。実はこの言葉は私自身が高校時代に自分に言い聞かせていた言葉であり、今でも捨てることはできません。

同窓生だより

「開拓者の気魄」で酪農家に

上野　潤（37期）



「土地も資産もないのに農業はできん。大学へ行っておけ」。父の助言で、進学先の幅が広く家から近い長良高校に決めた。授業中居眠りばかりしていたのに、不思議と試験の成績は良かった。理数は特にできた。卒業式の答辞で、まだ二次試験の前なのに「北海道へ農業の勉強に行きます」と宣言して札幌へ飛んだ。

北大へ進んだものの、人間関係に無理したためか精神を病み、留年と休学を繰り返した。大学を卒業しないまま、北海道内の農場を転々として現場で技術を身につけた。新規就農を目指したが、何度も挫折を味わった。けれど、夢を追うのを諦めきれなかった。長良の校訓、「開拓者の気魄」を胸に。

周囲の人に支えられ、三十五歳の時、十勝南部の広尾町に農場を持って酪農経営を始めた。

子供ができてから判ったのだが、僕は「高機能自閉症」だ。図形的思考力に優れ、関心事の記憶力は抜群だが、複数の事に同時に注意を向けられない。仕事中に話かけられるとしている事が分からなくなるので、一人でないと上手く仕事ができない。農業は「生産的な孤独」が楽しめる職業で、自閉症者に向いていると思う。動物とは付き合いやすい。彼らは言葉でなく映像で考える。特に牛は毎日の生活パターンにこだわりがあるから、ウマが合う。

今は、四人の人間と八十頭の牛の他、犬、猫、ウサギ、鶏、馬（豚や山羊もいた）の大家族と共に、さまざまな野生動物の訪問も受けながら、心豊かに暮らしています。

「長良高校卒業の誇り」

澤田　真紀（37期）
（旧姓　服部）

徒歩二分の所に自宅があり、叔父や叔母も長良高校に通った同窓生です。親類達はそれぞれに信じた道を極め「○○道」と笑っていますが、私にとって自慢の先輩でもあります。

学生時代思い出されるのは、個性的で素晴らしい恩師の皆様と一生付き合う仲間との出会いです。バレー部に所属し、顧問の先生や先輩方と練習で汗を流しました。部活と勉強に明け暮れたと言いたい所ですが、事実は少し違いました。将来の夢が明確でなかった私は、勉強に打ち込めず部活と恋に一生懸命でした。中途半端な状態で臨んだ大学受験は失敗し、第二希望の学校で「看護」と出会いました。

新しく病気や薬理、看護における相互作用や療養指導を学ぶことは、どれも楽しく、実習や先輩との寮生活も乗り越えられました。看護師として二十七年が経ち、副看護部長として経営や地域連携・医療安全に携わるほか、看護学校の授業を担当しています。人に寄り添い看護を語る事を大切にしながら続けています。振り返ると、あの頃の挫折も大切な経験と心から笑えます。人生を切り開く「開拓者魂」は私の中にもありました。

好きな言葉に「事難方見丈夫心、雪後始知松柏操」と雪の季節も強く生きる植物から、「困難な状況の時こそ、その人の真の実力が判る」があり、逆境の時こそ笑顔で何とかすることを信念としています。これからもこの伝統ある長良高校の卒業生として、「看護の道」を極め、医療を目指す後輩たちと共に高齢化社会を支えたいと思います。

「シュークリーム」

赤石　和郎（37期）

現在私は神社で神主をさせて頂いております。朝夕に日々のお礼を神様に申し上げることが私の仕事です。

三十年前の私は「自分は自分一人の力で生きている」と思っていた。

不遜な高校生でした。

そんな私に対してでも、多くの愛情を注ぎ、家族、子供のためにと一生懸命働いてくれたお父さん、部活の朝練で早く家を出るときも、暗いうちからお弁当を作ってくれたお母さん、今思えばと思っています。

本当にありがたい限りだと思っています。

在校生の皆さんは、偏差値の高低がそのまま人間の価値に置き換えられる、大変厳しい受験競争の最中に置かれていることと思います。そのような中に置かれていても、身近に存在する本当に大切なものを決して見失わず受験勉強に励んで下さい。

机から目を離して、周りに目を向けてください。大切な家族、尊敬できる先生、信頼し合える友人、何があっても自分の味方になってくれるご先祖さまという、大応援団の存在に気が付くはずです。

日本では、遠いご先祖さまを「神さま」と申し上げ、近いご先祖さまを「仏さま」といいます。一番近いご先祖さまを「お父さん、お母さん」といいます。学校の帰りにコンビニでシュークリームを買って、一番身近なご先祖さまに「いつもありがとう」と言ってお供えをしてください。とっても嬉しい気持ちになり、受験勉強にも力が入ると思います。

毎日遠いご先祖さまに手を合わせ、近いご先祖さまにお礼を申し上げ、大応援団と一緒に楽しい高校三年間を過ごしてください。

「同窓生との語り合い」

兼田　智也（37期）

長良高校を卒業して三十年になりましたが、高校生活を振り返ってみると、本当に充実した三年間だったなと思っています。

部活動は陸上競技部（中・長距離）に所属しておりましたが、自分として精一杯取り組むことができたと言える大切な思い出となっています。

もちろん記録や成績は決して目立つものではなく平凡なものでしたが…。

卒業してからは一年浪人して進学、その後は航空自衛官として勤務しております。ご存じの通り完全に転勤族であり、長い間、地元を離れて生活しております。自宅も埼玉県に構え、子供もある程度成長し、さらに家族を残して単身赴任している身となってからは、お盆や正月等で実家に帰省することもなくなってきたのが実態です。高校時代の同窓生とも年賀状のやりとり位しかできない状態が続くこともありました。それでも仕事の関係で近くに来たときは実家近くの同窓生に声を掛けて飲むこともあります。何年かぶりに合う同窓生は、懐かしくて時間が経つのも忘れて高校時代の思い出話や近況を語り合ったりすることもあります。卒業後の進路や立場もそれぞれ違いますが、そんなことは関係なく腹を割って話せることができるのも気心の知れた同窓生ならではと思っています。

卒業してから今まで同窓会に参加する機会はありませんでした。このたび三十七期生が長良高校同窓会のメインホストとなり、みんなで同窓会を盛り上げていこうと力を合わせていると聞き、是非参加したいと考えております。

「二十年経っても…」

池間　千愛（47期）
（旧姓　笠原）

この度、長良高校同窓会会報『ながれ』への寄稿のお話をいただき、私の高校時代を改めて思いだしてみました。まず、驚いたことは長良高校を卒業して二十年もたってたことです。

私の高校生活といえば、部活動に励む毎日だったと思います。私はバレーボール部に所属をしていました。顧問が毎年交代する三年間でしたが、どの先生にも大変熱心にご指導をしていただき感謝しております。

四月、バレーボール部に入部すると新一年生のニックネームをつけることから新年度が始まります。そして、一年生と上級生でペアを組み毎日の練習に取り組みます。部員が多くなかったこともあり、部活動以外の学校生活でも学年を越えて関わることが出来る和気あいあいとした部だったと思います。

私が一年生の時ご指導いただいた、小寺先生が長良高校にいらした四年間にバレーボール部に所属していたメンバーで今でも年に一度ＯＧ会で集まっています。子供のこと、仕事のこと。時々、高校時代の部活動のことをおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしています。部活動を通して、先輩方や同級メンバーに出会えたことに感謝しています。

現在も（実家も長良高校に程近く）長良に住んでおりますので、毎日のように長良高校の生徒さんをお見かけします。現役生のみなさんには、部活動のみならず高校生活での素敵な人たちとの出会いを大切にしていただきたいと思います。

女子バレーボール部・長良会のみなさん、これからもどうぞよろしくお願いいたします。来年のＯＧ会も楽しみにしています。

第七期卒から六十年

渡邉 泰彦（7期）

僕が母校長良高校を卒業して早や六十年が経過していたとは驚きです。同窓生が二万余名もいらっしゃる中で私にこの機会が回って来てラッキーです。この際私の恥やら含めて、若い方々に何か一つでもヒントが見つかればと思いご紹介します。

戦争前昭和十二年五月に台湾で生まれ、当時台湾は日本の統治国であった事から、日本人学校の大和国民小学校一年までの通学し、空襲警報で近くの防空壕に飛び込んで学校に通った思い出があります。永い人生にはなかなか思った通りには行かないもので、社会の大きな流れの中で、自分に合った自分の強味を特技として波を乗り切るしか手は無いと信じて居ります。子供の頃の夢は、戦時中で田舎に疎開していて、そこに日本軍も移動して来て共存してましたが、ある日、日本軍の馬が七転八倒し即死。腹を空けたら腸捻転。あの時の馬の苦しみ方を見ていて、大人になったら馬の医者になろうと思ってました。卒業後、種々あって獣医の道はあきらめて、米軍の第五空軍基地に勤務し、折角英語圏で働くのだから英会話をものにしようと何とかマスターできました。基地は撤退になり、英語を使う仕事を探し、貿易会社に入る為英文タイプ速修科に入り入社。英語の作文の広告を見て、あの有名なバウハウス丸栄の設計部に入社できました。設計部長、開発部長を経た頃、ある土地を探しに行ったところで、農家の主人から土地は貸したいけど農振がかかってるから残念と云われ、農振って何ですかと聞いたら、お前ら農振も知らずに開発やってるのかと云われクッソーと宅地建物取引士に合格。今は不動産業者で大都市の大型案件の仲介中。インテリアプランナーの資格で名古屋モード学園の講師を十三年間も勤めました。今は週二時間、岐阜市の指導で健康体操に通い、三ヶ月毎に体力テストで五十二才の判定をもらい、実齢七十八才、二十六才差は岐阜一二〇人中トップで、健康と料理も勉強を始めて頑張ってます。

若者は何でも挑戦して明るく健康な人生を送って下さい。いつ頑張るの！今でしょ！

高校時代と今

野村 重信（17期）

「光陰矢の如し」―なんと早く年月が過ぎ去ってしまったのだろう。六十八回目の誕生日が過去になり、今年はもう六十九回目を迎える。高校時代の一ヶ月は長く、今の一年が短く感じられる年になってしまった。二年前に第八回十七期同窓会が行われ、五十九名の同窓がタイムスリップを味わった。「古稀にまた皆さんと会いましょう」と世話人坪根君のアナウンス、もう一年半後に迫ってきている。

ベビーブーマーの先陣を切る我々は、多くの仲間とともに喜怒哀楽を楽しみながら知らない間に育ってきた感じする。私の場合、当時名門であった長良高陸上部に入ったが、つわものぞろいの先輩たちに囲まれてしごかれ何とか一年を過ごし、二年生になって生物クラブに所属して蝶の美しさに魅了されたことを覚えている。動と静のクラブを味わったがどちらも思い出深い経験となった。

現在まだ専門分野で仕事をしているが、新興国を訪れ、その土地の人々と接すると若いころのエネルギッシュな時代を思い出す。当時は新興国だった日本で育った我々は、親の背中を見ながら一生懸命働いてきたものである。今やっと先進国の仲間入りを果たし、自由な時間を手にすることができるようになった。これからはゆったりと社会とかかわり合いながら次のステップに向かって…。「生まれけり死ぬときまでは生きるなり（実篤）」―今を生きる一句である。

あの三年間

錦見 秀則（27期）

振り返りますと長良高校を卒業してからもう四十年近く経ちます。高校時代の思い出と言えば野球の事ばかりです。文武両道ですがあまり勉強はしなかったと思います。

毎朝五時半に家を出て、一時間半かけて通学していました。朝練には毎日一時間走り込みをし、放課後の部活動もとにかく走ってばかりいました。冬場の練習は毎日金華山に走って登り、いつかは天下を取ると誓いました。我々の時代、投手は先発完投が当たり前でしたので、体力（足腰）強化のためひたすら走るのが日課でした。また練習中は今と違い、水を飲んではいけなかったのでとても辛かった記憶があります。しかし『甲子園出場』を目標に、日々練習に打ち込みました。当時の監督が「甲子園に行くのは月に行くより遠い」と言ってみえたのを思い出します。一年の夏大は二回戦敗退で、本当にこのままで甲子園に行けるのか？と落ち込みましたが、その年の秋に優勝、東海大会で三位になり、翌春の第四十六回選抜大会に選ばれ、鈴木校長を主将とする二十六期の先輩方と念願の甲子園出場を果たしました。甲子園に出場出来たのは先輩方が築いて下さった基盤があったからであり、また選抜大会ですので長良高校の評価でもあったと思います。私自身甲子園出場後は怪我との戦いでした。挫折を味わう時でもありました。投げたいけれど投げる事が出来ない悔しさです。よく針やマッサージで勉強して建築士を取りました。そこで建築士募集の広告を見て、あの有名なバウハウス丸栄の設計部に入社できました。設計部長、開発部長を経た頃、ある土地を探しに行ったところで、農家の主人から土地は貸したいけど農振がかかってるから残念と云われ、農振って何ですかと聞いたら、お前ら農振も知らずに開発やってるのかと云われクッソーと宅地建物取引士に合格。今は不動産業者で大都市の大型案件の仲介中。インテリアプランナーの資格で名古屋モード学園の講師を十三年間も勤めました。今は週二時間、岐阜市の指導で健康体操に通い、三ヶ月毎に体力テストで五十二才の判定をもらい、実齢七十八才、二十六才差は岐阜一二〇人中トップで、健康と料理も勉強を始めて頑張ってます。

若者は何でも挑戦して明るく健康な人生を送って下さい。いつ頑張るの！今でしょ！

長良高校コーラス部の黎明

藤井 弘好（5期）（旧姓 佐竹）

関東支部

一九五二年（昭和二七年）音楽の恩田忠彦先生が長良高に赴任されました。私が二年生の春です。NHK東京放送合唱団の団員でいらっしゃいましたので、私が早速三年生と一年生にも参加いただきコーラス部を結成いたしました。これが長良高校コーラス部の幕明けです。そして岐阜県のコーラスレベルが大飛躍した一番の要因は、恩田先生の類い希なる芸術性と（コーラスだけでなく作曲も美術でも）高い指導力の賜物と確信しております。同年八月一日には、NHK名古屋放送局の依頼で、シューマンの「流浪の民」他数曲を放送いたしました。秋にはNHK合唱コンクール岐阜県代表・東海四県第一位・中部七県第二位・朝日新聞主催の合唱コンクールも東海大会第一位・翌二十八年も同じ結果を勝ち取りました。十月十九日には公会堂で新しい校歌の発表会がありました。時の校長・河出先生と恩田先生が御上京になり、歌人の土岐善麿氏と大作曲家・信時潔氏による格調高い校歌です。土岐善麿氏の講演、白木恭子さんのソプラノ独唱、私のピアノ独奏、コーラス、ブラスバンド演奏、校歌斉唱と多彩なプログラムでした。二十九年一月十六日には、第一回長良高校音楽会を公会堂でいたしました。恩田先生がシューベルト「冬の旅」から二曲独唱、ソプラノ独唱オペラ「椿姫」「蝶々婦人」のアリア、メゾソプラノ独唱、四重唱、ピアノ独奏、コーラス、ブラスバンド演奏など盛大に行いました。寄付集めに歩いた事等、懐かしい思い出です。今私の東京での音楽活動に、指揮者として国内外で活躍中の六期の鷲見尚保氏（恩田先生の甥ごさん）が常任指揮者を勤める、いくつかのオーケストラのメンバーと組んで御協力いただいているのも恩田先生のおひき合わせと感謝いたしております。現在も大変御活躍のコーラス部を誇りに思い嬉しくなります。長良高校の更なる御発展をお祈りしております。

関東支部同窓会毎年開催決定！

―11月23日は関東支部の日―

関東支部長　伊藤 照夫（19期）

平成二十七年十一月二十三日（祝）に開催されました第十回長良高等学校同窓会関東支部総会・懇親会において、毎年関東支部の同窓会を開くことが全会一致で決まりました。そして、十一月二十三日を関東支部の日と定め、毎年この日に皆で会うことを確認しました。

当日は、岐阜から辻同窓会長、鈴木同名誉会長（長良高校長）、長屋同副会長、澤島関東支部相談役をお招きし、約七十人余が集まりました。この内、二十期以降の出席が十四人と目立ち、一昨年の第九回の三人と比べると大幅に増え、若返りました。頼もしい限りです。この若い力で、きっと楽しく有意義な関東支部になると思います。

今年も、同じ場所（銀座「吉乃翔」）で開催いたします。今から是非出席を予定しておいて下さい。

治療に行きました。三年の最後の大会前も肩痛で思うように練習が出来ず、ぶっつけ本番でし た。準々決勝で八回日没コールド負けになり、仲間と大泣きした思い出があり、とても悔いの残る試合でした。今思い出しても非常に悔しく最後まで投げたかったと言う思いが込み上げて来ます。やり残した感じです。不思議な縁で娘（六十七期）が長良高校に入り野球部のマネージャーになりました。娘のおかげで時間があれば古巣である野球部に顔を出し、部員に昔の話もしながら技術だけでは無くメンタル面等もコーチしたりしています。そして近い将来甲子園出場を夢見ながら、部員達の練習を見守っています。今の私があるのは『あの三年間』があったからこそであり、あの当時の強い気持ちがあれば何でも出来ると言う思いを持って日々精進して来れました。在校生の皆様も仲間と学んだ三年間の経験を活かして次の目標に邁進して下さい。そして甲子園出場時には一緒に応援に行き、ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に、これからの長良高校の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

「当たり前」に感謝

佐々木はすみ（57期）

長良高校を卒業して、十年という月日が経ちました。私は大学卒業後、教員になり、生徒と共に再び学校生活を送っています。そして昨年度、中学三年生の担任になり、初めて卒業させる立場を経験しました。学生時代は、当たり前のように学校に通い、授業を受け、部活動をして帰宅する生活を仲間と送っていましたが、生徒を育てるという立場になってから、その当たり前だったことは、「決して当たり前ではない。」ということに気がつきました。落ち着いた学習環境や授業の準備、そして部活動でのご指導など、私たちのために嫌な顔一つせずに教えてくださった先生方へ感謝の気持ちでいっぱいです。

先日、ハンドボールの大会で、数年ぶりに恩師に会いました。高校三年間は、鬼のように厳しい練習を毎日受け、一叱られたくない。何が何でもやり通さなくては」という思いでプレーをし、先生と何気なく会話をする余裕はありませんでした。しかし、恩師に心から感謝している今は、当時のような緊張もなく、笑い合いながら話をすることができます。

プレーの面でも、生活の面でも、先生のご指導は厳しいものでした。しかしそれは、私たちのチームが東海大会へ出場できるほどの力をつけるもので、現在の私の支えになっています。

私にとって高校三年間は、かけがえのない時間でした。部活動で鍛えられただけでなく、たくさんの仲間に出会い、今でもつながりがあることが幸せです。

長良高校生のみなさん、今しかできないこの瞬間に、自分の精一杯の力を注いでください。そしてあなたの目の前にある「当たり前」に感謝して、生活して下さい。

開拓者魂

岐阜大学2年　西田 愛花（66期）

長良高校を卒業して一年が経ちました。今、高校で過ごした三年間は、自分を大きく成長させてくれた大切な時間だったと実感しています。

中学校を卒業した私は長良高校の"文武両道"の精神にとても憧れを感じ、高校に入学しました。その思い通り、私はバレーボール部に入部し、同じ思いを持った熱い仲間と素晴らしい先生と共に毎日毎日練習に打ち込みました。正直楽しいばかりではなく、それよりもうまくいかない事の方が多くて、仲間と共に悩み、どうしたら目標に追いつけるか、必死に葛藤していたのを思い出します。そんな経験を経て全員で勝ち取った勝利には何にも変えられない嬉しさがあったし、バレーを続けてよかったと心の底から思えました。

過ぎ、部活動を引退した私は大学を選択しなければいけない時期になっていました。やりたい事が多くて、なかなか目標の大学を絞れないでいた私に担任の先生をはじめ、多くの先生が助言をくださり、色々な話を聞く中で私は岐阜大学の教育学部を選択しました。そして長良高校の先生方の様な温かくて素敵な先生になるのが、新しい私の夢になりました。保健体育講座を選んだのも、部活動で指導してくださった先生の様に、私も部員と一緒に目標を追いたいという思いがあったからです。夢を叶えるべく大学でも日々勉強と部活動に励んでいます。

最後に、長良高校に入学したことは、私にとって大きな分岐点だったと思います。同級生だけでなく、先輩や後輩も含め、温かい仲間、素晴らしい先生方に出会えたこと、過ごした時間、全てが宝物です。在校生の皆さんにも、限られた時間を大切にして、素敵な高校生活を送って欲しいと願っています。

部活動OB会

優勝劣敗

長球会会長（野球部OB会）　渡辺 訓男（23期）

昭和四十六年夏、県営球場のスタンドは、二万を越える両校応援団でまっ白でした。結果は松田君の力投も空しく甲子園出場はなりませんでした。半世紀近くたった今でもこの光景は忘れません。この時以来"優勝劣敗"という文字が支えとなりました。その後現鈴木校長達が入学してくれ、何と三年後には甲子園出場を果たしてくれました。この時は自分の様にうれしかったことを思い出します。この快挙を思う時、栗本先生そして特に渡辺辰彦先生なくしては語れません。先生は一人で何時間も職員会議も出ず、ノックをしつづけました。その両先生も数年前亡くなりました。甲子園出場が口グセでした先生を思い、数ヶ月に一回は皆で集まり女房（二十三期）に呆れかえられても同じ思い出を語りあっています。

昨年よりOB会長になり現役生徒の支援を最大に行い、そして再び甲子園に行ってもらいます。

OB会のホームページ作りから始まりOB会員へのメッセージと細かい活動を若手執行部メンバーを中心に元気良くやっております。今、なかなか市内の進学校の野球部は県大会にも出場が出来ないことを思いますに、我が野球部は良く頑張っています。ますますOB会としては力が入ります。幸いなことに教員になり野球に係わっているOBが多くなり母校へ帰って力になってくれています。このことも正に歴史ある学校の為せるわざです。

最後にOBの皆さん、年一回の総会に集い大いに昔話しに花を咲かせましょう。

"皺おおい"元気な顔　四期生同窓会

年齢は八二才、本年も集まった七二名。見掛けは老人、しかし大勢の友が集まり感動をした。世話人代表松原邦芳さん、有り難う。楽しいひとときを過ごせる幸せを皆で悦んでいる。

一九三四年生まれの四期生は波乱の時代を生きた年代で小学校の前身国民学校の一期生、戦後の学校制度改革で新制中学校一期生、高校は学区制改革で創立した長良高校一年で入学した一期生と変遷の時代であった。

今回の同期会は昭和二八年十月まで唄われた校歌を、藤吉秀彦さんの発想で作成されたCDで合唱し、田中菊雄さんの司会で開会した。懐かしい想いに慕った温もりのある幸せな一日であった。

また、この度長良高校創成からのあゆみ"ながら"が編纂され、二四名の今は亡き恩師の筆を含み五七篇の長良高校回想録が全員に贈呈された。

昨年度 総会・懇親会

「長良高は素晴らしい」ご参加・ご協力に感謝

昨年度実行委員長　山田 秀孝（36期）

平成二十七年六月二十一日（日）に岐阜グランドホテルにて開催された二十七年度長良高等学校同窓会総会・懇親会では、昨年・一昨年に引き続き五〇〇名を越える多くの卒業生の方々にご参加頂き大いに盛り上がりました。当日朝方は経験したことの無い滝のような大雨に見舞われ、どうなる事かと心配致しましたが、開催時間には雨も上がり大勢の方で会場は熱気に包まれました。

四期同窓生の藤吉先生の作品をお弟子さんに歌って頂いたミニリサイタル、在校生の生き生きとした姿と活躍されてらっしゃる同窓生の皆さんで繋いだ「HAPPY」フィルム上映、そして会場全体が一つになった「五三四名のジェンカ」と応援団パフォーマンス。テーマで掲げさせて頂いた長良高スピリットを思う存分感じさせて頂くことが出来ました。また三十六期以降の比較的若い期の卒業生の方々にも多く参加頂き、長良高同窓生がスピリットを一つにして繋がっている事を感じて頂けたと思います。卒業生の皆様、是非身近に居る長良高校の同窓生・卒業生の方々にも声を掛けて頂き、今年度以降も大いに盛り上がりましょう！

最後に同窓会総会・懇親会に関わっていただいた幹事会の方々をはじめ、サポート・サブホスト期幹事の皆様、校長先生はじめ諸先生方には心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

平成２７年度　部活動実績一覧

祝

全国総合文化祭 放送 個人 出場
全国総合文化祭 写真・科学（科学）出場
ＮＨＫ杯全国高校放送コンテストアナウンス部門 出場
全国高校総体 陸上競技 男子110ｍＨ 女子100m 200m 出場
紀の国 わかやま国体陸上競技 女子100m 4×100ｍＲ 出場
全日本ジュニア室内選手権大会 陸上競技 男子60mＨ 優勝 女子60m 出場
全国高校ハンドボール選抜大会 女子 出場
全国高校選抜卓球大会 女子 個人 ベスト16

《運　動　系》

【陸上競技】			
◆春季大会	男子	110mＨ	優　勝
	女子	200m	第2位
◆県高校総体	男子	110mＨ	優　勝
		走高跳	第2位
		800m	第4位
	女子	100m	優　勝
		200m	優　勝
		5000mW	第4位
		砲丸投	第5位
		走幅跳	第6位
		400mＲ	第3位
●東海高校総体	男子	110mＨ	第2位
		走高跳	出　場
		800m	出　場
	女子	100m	第2位
		200m	第3位
		5000mW	出　場
		砲丸投	出　場
		走幅跳	出　場
		400mR	出　場
★全国高校総体	男子	110mＨ	出　場
	女子	100m	第4位
		200m	出　場
●東海選手権大会	女子	100m	第3位
◆県高校新人	男子	5000mW	第4位
		ヤリ投げ	優　勝
	女子	200m	第4位
		5000mW	優　勝
		400mR	第4位
★国民体育大会	女子	100m	出　場
		4×100mＲ	出　場
★全日本ジュニア室内選手権	男子	60mＨ	優　勝
	女子	60m	出　場
【野球】			
◆秋季県大会			ベスト8
【サッカー】			
◆県高校総体			ベスト8
◆県選手権			ベスト8
◆県新人大会			ベスト8

【バスケットボール男子】			
◆県高校総体			第6位
【バスケットボール女子】			
◆県高校総体			ベスト8
【卓球】			
◆県高校総体	女子	団体	第3位
●東海高校総体	女子	団体	出　場
●東海高校選手権	女子	個人	3人出場
◆県高校新人	女子	個人	優　勝
★全国高校選抜	女子	個人	ベスト16
◆県高校選抜	女子	個人	優　勝
【バドミントン】			
◆県選手権	男子	個人	第2位
◆県高校生大会	男子	団体	ベスト8
	女子	団体	ベスト8
【水泳】			
◆県高校総体	男子	100mバタフライ	第7位
		200mバタフライ	第7位
		400mリレー	第8位
		400mメドレーリレー	第8位
	女子	50m自由形	第8位
		400m自由形	第6位
		200m自由形	第2位
			第7位
		100m平泳ぎ	第6位
		200m平泳ぎ	第8位
		100mバタフライ	第5位
		200mバタフライ	第4位
			第6位
		100m背泳ぎ	第7位
		100m背泳ぎ	第7位
		400mリレー	第5位
●東海高校総体			出　場
【ハンドボール女子】			
◆県選手権			第3位
◆県高校総体			ベスト8
◆県新人			第2位
◆県選抜選手権			第2位
●東海高校選手権			第5位
★全国高校選抜大会			出　場

【ハンドボール男子】			
◆県選手権			第3位
◆堤杯県選手権			第3位
◆県新人			ベスト6
【剣道】			
◆県高校総体	女子	団体	ベスト8
◆県高校新人	女子	団体	ベスト8
●東海選抜	女子	団体	出　場
【バレーボール女子】			
◆県高校総体			ベスト8
◆スプリングチャレンジカップ			第2位
◆県高校選手権			ベスト8

《文　化　系》

【放送】		
◆県高校放送コンテスト	アナウンス部門	第2位
★NHK杯全国高校放送コンテスト	アナウンス部門	出　場
★全国総合文化祭	アナウンス部門	出　場
	朗読部門	出　場
◆県高校文化祭新人	アナウンス部門	第6位
【写真・科学】		
★全国総合文化祭	自然科学	出　場
◆県高校写真コンテスト		優秀賞
◆県美術展青年部		優秀賞
【コーラス】		
◆県合唱コンクール	県教委賞	金賞
●中部合唱コンクール		銀賞
◆県総合文化祭		最優秀賞
◆ヴォーカルアンサンブルコンテスト	県教委賞	金賞(第2位)
		金賞(第4位)
【書道】		
◆県総合文化祭	個人	優秀賞

（団体：県大会ベスト8以上　個人：6位以上）
（平成27年4月～28年3月）

★全国大会　●東海大会　◆県大会

『一歩ずつ』

筑波大学体育専門学群1年
新木 詩乃（67期）

私は中学から陸上を始め、全国一位を経験しました。高校に入り、「また全国の舞台で活躍したい、できるだろう」そう思っていました。そして高校一年の時、リレーでも個人種目でもインターハイ出場する事ができ、とてもうれしく思いました。しかし、個人種目の前夜に舞い上がって遊んでしまい、先生にも怒られました。結果はどちらも予選落ち。全国のレベルの高さ、自分の意識の低さを強く感じました。一年時のこの経験を機に、より真剣に陸上競技に取り組むようになりました。

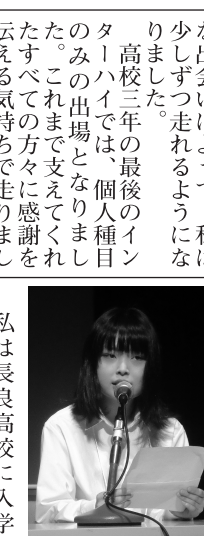
高校二年の時は、インターハイ優勝を目指し日々練習しました。先輩方の力もあり、リレーでも昨年より良い記録を出せるようになりました。そして昨年と同様に、リレーと個人でインターハイを決めました。

迎えた本番では、リレーのレースが個人よりも先にあり、リレーで仲間と走った後の個人種目はいつも以上に孤独を感じました。それでも、どちらも予選を突破し昨年よりは成長できました。しかし、力が及ばず準決勝敗退で終わりました。その後、私はそれまでで一番大きな怪我をしました。それから自分の走りを見失い全く走れなくなりました。逆に、怪我をした事でいろいろな方と出会いました。整体の方やコーチの方、そのような出会いによって、私は少しずつ走れるようになりました。

高校三年の最後のインターハイでは、個人種目のみの出場となりました。これまで支えてくれたすべての方々に感謝を伝える気持ちで走りました。そして、ベストに近い記録で四位になれました。この結果に満足したわけではありません。悔しい思いもあったのですが、三年間通して学び、成長してきた成果が、結果として残った事は嬉しく感じました。そして私は大学に行っても、高い目標を持って、全国レベルで戦える選手であり続けたいと思いました。

『放送部で学んだこと』

駒澤大学法学部1年
中村 すみれ（67期）



私は長良高校に入学し、友達のすすめもあって放送部に入部しました。入部するまで全く放送にかかわったことがありませんでしたが、全国大会に出場した先輩方の姿を見て、憧れを持ちました。

放送部には私の一つ上の学年の先輩がおらず、私は一年の七月から部長を務めさせてもらいました。高校生として分からないことも多い中、文化祭や体育祭といった学校行事で放送という大切な役割を経験することができました。

一年生で初めて出場した新人大会でアナウンス部門第二位という結果を残し、今までの先生の指導や部での練習が結果にあらわれると、自分の努力を認められたことがとても嬉しくて、さらに練習に励みました。

そして私は、二年、三年と連続でＮＨＫ杯全国大会と全国総合文化祭（茨城大会と滋賀大会）に出場することができました。出場することで全国の高校生のレベルの高さを知り、私が伝えるためにどうしたら良いのか考えました。基本となる発声と滑舌に毎日取り組み、全国大会決勝や準決勝のＣＤを聴いて自分に足りないものを探し、練習では自分のアナウンスを録音し、伝えるためにどうしたらよいのか考え、練習しました。

全国大会で結果を残すことはできませんでしたが、私は放送部に入部して初めて真剣に部活動に取り組み、仲間と励ましあいながら技術を高めようとする喜びを学びました。

アナウンスではなくても、伝えることは日常生活においてなくてはならないものです。部活動で学んだこと、そして何かに向かって努力することを大切に、これからも様々なことに挑戦していきたいです。

全国選抜卓球大会出場

女子卓球部の山崎真緒選手が全国高等学校選抜卓球選手権大会県予選に優勝し、第四十三回全国高等学校選抜卓球大会に出場しました。決勝トーナメントに進出し、ベスト十六の成績を残しました。

平成２８年度入試　大学・短大・専門学校等合格状況

＜国立大学＞

大学名	学部	合格者数 現役	既卒	合計
北見工大	工	2	1	3
北海道教育大	教育	1		1
室蘭工大	工	2		2
秋田大	国際資源		1	1
筑波大	体育	1		1
東京外大	国際社会	1		1
新潟大	農		1	1
富山大	経済	1		1
	工	1	1	2
	人文	1		1
金沢大	人間社会	1		1
福井大	工	7	1	8
信州大	医	1		1
	工		1	1
	農	1		1
岐阜大	応用生物	1		1
	教育	3		3
	工	5		5
	地域科学	2		2
静岡大	人文社会	1		1
愛知教育大	教育	1		1
名古屋大	文	1		1
名古屋工大	工	3		3
三重大	工	1		1
滋賀大	経済	1		1
滋賀医大	医	1		1
京都教育大	教育	1		1
島根大	総合理工	1		1
岡山大	法	1		1
広島大	文	1		1
愛媛大	法文	1		1
高知大	教育	1		1
	農学海洋	1		1
	地域協働	1		1
九州工大	工	1		1
鹿屋体育大	体育	1		1
琉球大	観光産業	2		2
合計		52	6	58

＜公立大学＞

大学名	学部	合格者数 現役	既卒	合計
秋田県立大	生物資源	1		1
群馬県立女子大	文	1		1
高崎経大	経済	3		3
	地域政策	1		1
横浜市立大	国際総合	1		1
新潟県立大	国際地域	1		1
富山県立大	工	4		4
敦賀市立看護大	看護	1		1
山梨県立大	人間福祉	1		1
都留文科大	文	3		3
岐阜県立看護大	看護	4		4
静岡文化芸大	文化政策	1		1
愛知県立大	外国語	2		2
名古屋市立大	経済	2		2

＜公立大学＞

大学名	学部	合格者数 現役	既卒	合計
滋賀県立大	人間文化	2		2
兵庫県立大	経営	1		1
神戸市外大	外国語	1		1
奈良県立大	地域創造	1		1
公立鳥取環境大	環境	1		1
尾道市立大	経済情報	1		1
下関市立大	経済	1	1	2
高知工科大	システム工	1		1
合計		35	1	36

国公立大学 合計94名	合格者数 現役	既卒	合計
	87	7	94

＜私立大学＞

大学名	合格者数 現役	既卒	合計
獨協大	1		1
神田外語大	1		1
青山学院大	1		1
学習院大	1		1
國學院大	2		2
国士舘大		1	1
駒澤大	2		2
成蹊大		1	1
専修大	2		2
拓殖大	1		1
玉川大	2	1	3
中央大	3		3
津田塾大	1		1
東海大	4		4
東洋大	1		1
日本大	4	4	8
法政大	3		3
明治大	1		1
立教大	2		2
金沢工大	8		8
長野大	3		3
朝日大	3		3
岐阜経済大	1		1
岐阜女子大	2		2
岐阜聖徳学園大	48		48
東海学院大	3		3
中部学院大	17		17
岐阜医療科学大	36		36
愛知大	67		67
愛知学院大	36	3	39
愛知工業大	12	1	13
愛知淑徳大	34	4	38
金城学院大	16		16
椙山女学園大	13		13
大同大	25		25
中京大	124	7	131
至学館大	5		5
中部大	42	3	45
東海学園大	7		7

＜私立大学＞

大学名	合格者数 現役	既卒	合計
豊田工大		1	1
名古屋外大	15		15
名古屋学院大	7		7
名古屋経大	3		3
名古屋芸大	1		1
名古屋女子大	8		8
南山大	32	2	34
日本福祉大	2		2
藤田保健衛生大	11		11
名城大	78	3	81
桜花学園大	1		1
名古屋文理大	4		4
愛知工科大	2		2
愛知東邦大	1		1
星城大	2		2
名古屋学芸大	8		8
修文大	3		3
皇学館大	3		3
鈴鹿医療科学大		1	1
四日市看護医大	2		2
長浜バイオ大	9	1	10
京都外大	1		1
京都産業大	7		7
京都女子大	1		1
京都橘大	2		2
同志社大	2	2	4
立命館大	13	1	14
龍谷大	3	7	10
大阪学院大	2		2
関西大	3		3
関西外大	1		1
近畿大	4	2	6
関西学院大	4	1	5
合計	769	46	815

＜各種専門学校＞

学校名	合格者数 現役	既卒	合計
岐阜県立多治見看護専門学校	1		1
一宮市立中央看護専門学校	2		2
朝日大歯科衛生	1		1
岐阜県立衛生専門学校	10		10
県立愛知看護専門学校	1		1
金沢医療附看護	1		1
岐阜県立下呂看護専門学校	1		1
岐阜市立看護専門学校	2		2
名鉄看護専門学校	2		2
HAL	1		1
タカラ美容専門学校	1		1
愛知美容専門学校	1		1
情報科学専門学校	1		1
東京リゾート&スポーツ専門学校	1		1
東放学園	1		1
名古屋医専	1		1
名古屋観光専門学校	1		1
名古屋動物看護専門学校	1		1

＜各種専門学校＞

学校名	合格者数 現役	既卒	合計
名古屋スクールオブミュージック専門学校	1		1
あじさい看護福祉専	1		1
名古屋ビューティーアート専門学校	2		2
日本聴能言語福祉学院	1		1
合計	35	0	35

＜国公立短期大学＞

短大名	合格者数 現役	既卒	合計
岐阜市立女短	13		13
合計	13	0	13

＜私立短期大学＞

短大名	合格者数 現役	既卒	合計
東京家政大短大	2		2
大垣女短大	1		1
岐阜保健短大		1	1
東海学院大短大	1		1
平成医療短大	3		3
愛知大短大部	2		2
修文大短大部	1		1
名古屋女大短大	1		1
名古屋文化短大	1		1
大谷大短大部	1		1
関西女短大	1		1
愛知江南短大	1		1
合計	15	1	16

＜大学校・その他大学＞

学校名	合格者数 現役	既卒	合計
東海職能大学校	2		2
カーティン大学（豪州）	1		1
合計	3	0	3

＜その他＞

	合格者数 現役	既卒	合計
岐阜市消防局	1		1
合計	1	0	1

＜進路先まとめ＞

進路先	現役	既卒	合計
国立大学	45	5	50
公立大学	28	1	29
私立大学	257	14	271
国公立短期大学	7		7
私立短期大学	9	1	10
専門学校	28		28
海外大学	1		1
大学校	1		1
就職	2		2
浪人	18	4	22
合計	396	25	421

全国高等学校ハンドボール選抜大会出場

◆平成二十七年度岐阜県高等学校新人ハンドボール大会第二位　東海大会出場決定
◆第四十四回東海高等学校ハンドボール選手権大会　第五代表決定　全国選抜大会出場決定《初出場》
◆第三十九回全国高等学校ハンドボール選抜大会出場　二回戦　兵庫県神戸市

全国高等学校総合文化祭（2016ひろしま総文）出場決定

「第八十四回岐阜県高等学校連合音楽会」にて、最優秀賞に「希空～まれぞら～」と「百年後」を演奏した岐阜県立長良高等学校コーラス部が選ばれました。
平成二十八年八月三日に広島県廿日市市で開催される、「第四十回全国高等学校総合文化祭（二〇一六ひろしま総文）」への出場切符を手にしました。

退職・転出・転入された教職員の方々

教職員

〈退職〉
和田敦子（国語）加茂農林
（再任用）
粟津　薫（国語）岐阜城北
（再任用）
山田昭典（数学）岐阜総合学園（再任用）
藤村純子（保体）長良（再任用）
小見山純一（音楽）岐阜聖徳学園大学
廣澤香代子（英語）関有知（新規採用）

〈転出〉
桑原　聡（理科）文化振興課
鈴木啓久（理科）飛騨高山（岡本校舎）
淺野友美（英語）羽島
武藤眞理（英語）学校安全課

〈転入〉
大江哲郎（国語）関
三間育子（国語）各務原
上野英光（数学）岐南工業（再任用）
伊藤聖子（理科）不破
野村広大（保体）大垣商業（定）
ケアンズ治子（英語）本巣松陽

〈新規採用〉
松葉　瑶（理科）
村上　友（英語）

事務職員

〈退職〉
林　泉（業専）

＊以下五名常勤講師として勤務
福野衣里子（国語）
臼井達哉（数学）
勝野恭平（音楽）
日下部成朋（英語）
横山衣里（英語）

〈転出〉
久保信彦（事務長）武義高
事務長
筒井佳代（係長）岐阜城北
高事務長

〈転入〉
上山順子（部長）統計課
竹花容子（係長）文化振興課

〈新規採用〉
三井京子　業専